

第1回 運営委員会

日時:2006年10月16日(月) 17:30~18:30

場所:日本大学文理学部百周年記念館 第3会議室

1. GIS 技術資格認定局
2. 渉外委員会
3. 広報委員会
4. 編集委員会
5. 教育委員会
6. 全国連携委員会

渉外委員会

小口メモ (2006.10.4)

委員会構成：小口 高 (委員長), 長島雅則 (副委員長), 江崎哲郎, 碓崎賢一, 川添博史,
米澤千夏, 石川 徹, 佐々木 緑, 両角政彦

<活動方針>

* 当面の主なもの (委員配置の一部は案)

- ・ 日本地球惑星科学連合の活動に積極的に参加する (米澤・石川・佐々木・両角・小口)
- ・ KAGIS 等, 海外の学会・研究者との交流を促進する (江崎・碓崎・小口)
- ・ 賛助会員の待遇改善と獲得 (長島・川添)

* 今後必要なもの

- ・ 日本学術会議委員のバックアップ
- ・ 他学会との交渉・連絡窓口

<報告>

- ・ 日本地球惑星科学連合の委員会に GISA から参加する委員を選び, 活動に参加した (教育・国際・男女共同参画・プログラムの各委員会).
- ・ 日本地球惑星科学連合からの連絡事項, 審議要望事項を理事に適宜通知した.
- ・ 日本地球惑星科学連合の合同学会で行われる GIS セッションについて会長・副会長と連携して提案を行った.
- ・ 日韓 GIS 共同セミナーの海外参加者のための招待状ひな形を作成した.
- ・ 賛助会員の待遇改善と獲得について, 理事に問い合わせを行った.

<課題>

- ・ 日韓 GIS 共同セミナー以外の海外交流をどのように進めていくか.
- ・ 賛助会員について具体的にどのような動きをとるか.
- ・ 学術会議関係, 他学会関係について具体的に何を行うか (委員追加要?).

編集委員会報告

委員長 浅見泰司

委員会の方針

学会誌の論文審査を迅速・適切・円滑に行う。

報告

今年度に新たな体制になって、活動継続中。

14-1号を刊行：原著論文5篇、研究・技術ノート2篇

14-2号を今年末に刊行予定

2005年には23篇の投稿があった。

採用出版済み13篇、採用出版予定2篇、修正稿待ち1篇、不採用7篇

2006年にはすでに24篇（うち1篇は書評）の投稿があった。

採用出版済み0篇、採用出版予定8篇（うち1篇は書評）、

修正稿待ち6篇、審査中5篇、不採用5篇

副委員長・査読委員の多大なご協力のもと、おおむね順調に進んでいる。

投稿規定を修正する予定（主な変更点は、参考文献の書き方の整理、電子的な投稿に合った投稿書類の簡素化、原稿分類の整理）

課題

投稿数は増加傾向にあるが、まだ、年間号数を増やすほどではない

国際的なアピール

外国人編集委員の拡充